

平成31年度IT業界の働き方改革サポート事業

発注者・受注者で実現する

IT業界の取引環境改善と働き方改革

円滑なプロジェクトの 推進に向けて



はじめに

近年、ITのイノベーションを活用し、新しい価値の創造や社会課題の解決を行うデジタルトランスフォーメーション(DX)が急速に進展しています。

DXにおいては、創造すべき価値や解決すべき課題は必ずしも明らかではないため、従来のシステム開発のように事前に決められた要件を確実に実現する「ウォーターフォール型」の開発手法だけでなく、要件が変化することを前提とした「アジャイル型」の開発手法が求められます。そして、これに伴い、プロジェクトの特性やプロジェクトマネジメントの在り方も大きく変化していきますが、いずれにしても、優秀な人材が集い活躍する「場」としての魅力高める環境整備が重要であることはこれまでと変わりません。

我が国では、2019年4月に働き方改革関連法が施行され、長時間労働の是正に向けて、各産業で法改正に対応した労務管理が進められているところです。IT分野においては、各社の真摯な取り組みもあって年間総実労働時間・所定外労働時間は着実に減少してきていますが、業務における過重な負担を原因とする労災補償の支給決定件数は他の業種と比較しても依然として多く、さらなる対策が求められています。

この背景の一つとして、システム開発の現場では、現場でのトラブルや開発スケジュールの遅延等が、受注者であるIT企業、その中でも特に中小企業や下請事業者の働き方に大きな影響を及ぼしているとの指摘があります。この問題は、IT業界特有の多重下請構造や人月工数のビジネスモデル等の要因も相まって、各企業の自助努力だけでは改善が難しいのが現状です。発注者・受注者が良好な関係を築き、一体となってプロジェクトを円滑に推進することが、双方にとっての働き方改革の実現に繋がると考えられます。

本冊子では、従来型のシステム開発(SoR)だけでなくDX時代のシステム開発(SoE)にも着目し、開発の現場における受注者から発注者への要望や、それらの要望に対する発注者の考え方や取組の好事例を、アンケート調査やヒアリング調査の結果をもとにプロジェクトの特性に応じてご紹介します。

発注者・受注者それぞれの考え方についてご理解を深めていただくことにより、さらなるIT業界の取引環境改善と働き方改革の推進、ひいてはITによる経済発展・社会課題解決に繋がっていくことを期待します。

発注者・受注者で実現する

IT業界の取引環境改善と働き方改革

円滑なプロジェクトの推進に向けて

ITをめぐる環境変化	3
プロジェクトを円滑に推進するためのポイント	4
阻害要因①：『不明確な仕様』	6
阻害要因②：『トラブル』	7
阻害要因③：『仕様変更』	8
阻害要因④：『発注者の事情(能力・行動・特性等)』	9
阻害要因⑤：『契約内容』	10
阻害要因⑥：『常駐先の職場環境』	11
コラム	12